

今後のUDCBKのあり方について

UDCBKのミッション

「公」「民」「学」が多様な価値観、個性、創造性を基礎とした知見を持ち寄り、専門家の先導的助言を得て、互いの良さを活かしつつ、長期的な見通しを持った都市デザインを構想し、必要な社会実験を行い、そのための学習と情報発信を行う。

～南草津駅周辺課題～

- ・ 交通渋滞やバス待ち環境等の交通環境の改善
- ・ 駅東西の公共空間の利活用
- ・ 官民連携による賑わい創出の推進
- ・ マンション住民中心でのコミュニティの分断・孤立
- ・ 大学の存在感を最大限に発揮した新たな魅力や価値の創造、オフキャンパスとしての空間形成

交通環境の改善

滞留・交流空間の創出

公共空間等の利活用

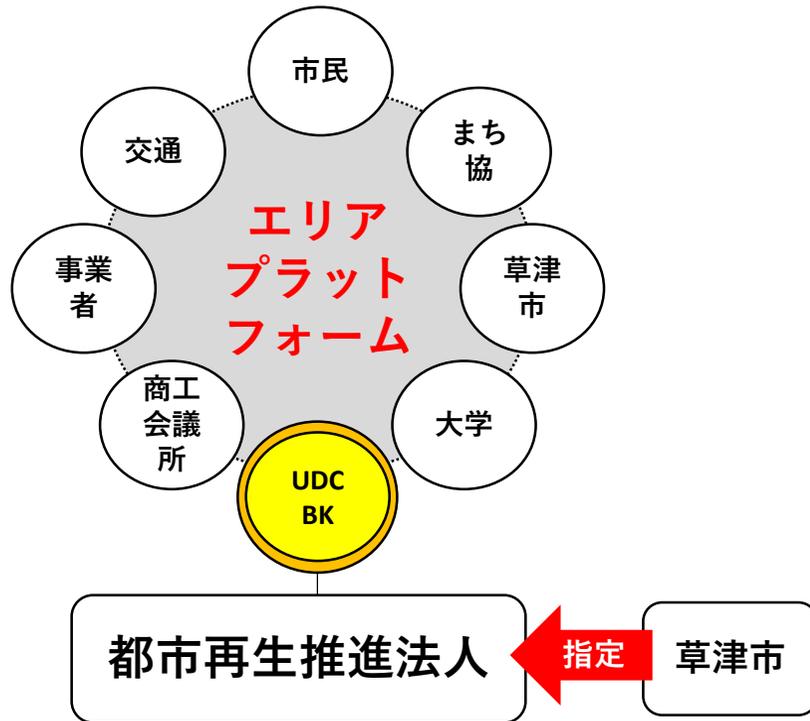
How?

市が独自で取組を進める従来手法でなく、エリア内のステークホルダーを巻き込み、UDCBKが掲げる産学公民が様々な知見を持ち寄り、それぞれが主体的に考え、プレイヤーとなり得るプラットフォームを構築する必要がある。

プラットフォームを構築することにより、多様な主体による繋がりを作り、まちに出る目的ができ、人との繋がりを高めたソーシャル・キャピタル(社会関係資本)の高いまちを目指す。

エリアプラットフォームについて

イメージ図



都市再生推進法人の指定を受けるメリット

・公共空間の活用や都市計画等の提案など、エリアマネジメントを進める上で活用できる制度、優遇される措置などがあること。

例) 都市公園リノベーション協定制度
道路・公園の占用許可等の手続きのサポート
都市再生整備計画や都市計画の変更等の提案

エリアプラットフォーム組織体制

(仮) プラットフォーム会議

- ・構成者の上層部（長や役員など）をメンバーに組成
- ・プロジェクト推進のためのルールや事業の意思決定を行う場



(仮) デザイン会議

- ・南草津の将来像やプロジェクト等の検討
- ・プロジェクト推進のためのルールや事業等の検討
- ・実際の事業を行うプレイヤーの集まり



・プレイヤーによるプロジェクトの実施

エリアプラットフォームにおけるUDCBKの役割

- 事務局
協議の進行やとりまとめ
プラットフォームの活動(案)の提案
エリア内の使用許可等のサポート
- コーディネーター
活動に係る構成メンバーの調整